

TMニュース 2023 No.6

2023.11.27. TM部

10月の早期医療体験プログラムは、土曜日の午後に3日間学校でエントリーして、1・2年生はどれか1つに必ず参加するという形をとりました。また、11月のTM講演会は、1・2年合同で行い、2年生のグループと1年生のグループがそれぞれ運営を担当する形で行いました。

<早期医療体験プログラム>

10月7日(土) 東北大学



「放射線診断医の世界」と題して、CTやMRIを駆使して画像診断および針と管で治療をする科の紹介がありました。「名医とは一人で全部やる医師ではなくチームで治療する医師」という言葉が生徒の印象に残ったようです。

10月14日(土) 東京慈恵会医大

「未来の医療イノベーション」と題して海外で活躍する脳外科医の先生の話を中心に最新の治療や医療機器についての紹介もありました。



10月28日(土) 大阪大学

「移植医療を通じて命を考える」というテーマで、末期臓器不全の患者の臓器移植への取り組みが紹介されました。過去にこのプログラムに参加して、医師になった学生の話もありました。



<11月講演会>

11月13日(月)

東京都医学総合研究所 吉川欣亮 氏

同研究所の主任研究官で難聴プロジェクトリーダーの吉川欣亮氏



に講演いただきました。難聴の遺伝的要因や発症機構について、生徒が事前に質問事項を伝えていたこともあり、とてもわかりやすいお話でした。

2年生Aグループの生徒が企画・運営しました。

11月20日(月)

東京女子医科大学脳神経外科 林基弘教授

「ガンマナイフ治療」の権威である林先生に「先端医療のめざすもの」という副題でお話をいただきました。ガンマナイフの基本構造や歴史をふまえ、実際の患者さんとのやりとりや治療経過を映像で見ながらお話いただき、「開頭せずに患者の心と人生を手術する」ということをめざして治療を行っていると話されていました。多くの生徒が感銘を受けたと話していました。

1年生のAグループが運営を担当しました。

